

奈良県における開発機の 作業性能と効果

奈良県農業研究開発センター
大和茶研究センター
総括研究員 脇坂 勝

奈良県の産地概要

▪ 茶栽培面積

733ha

(全国第12位

(農林水産省作物統計 H25))

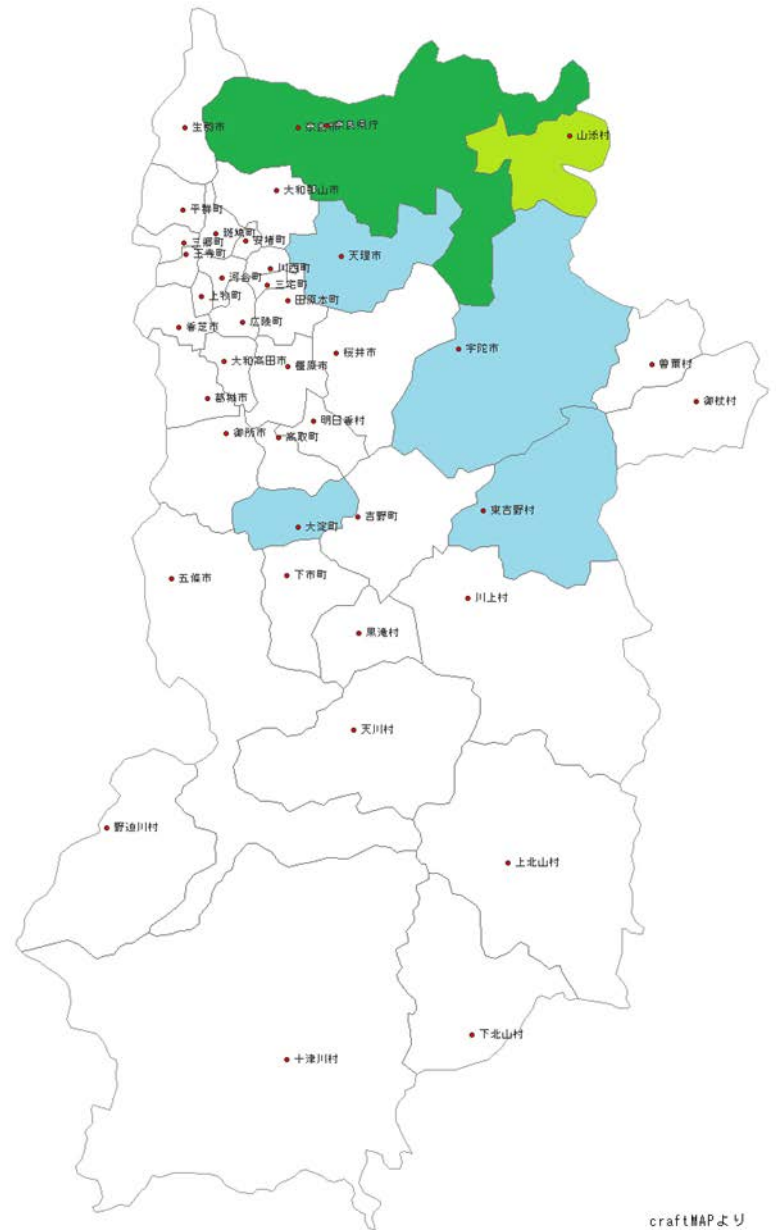
▪ 荒茶生産量

1,760 t

(全国第7位(同上))

▪ 主な生産地域

奈良市、山添村、宇陀市、天理市、大淀町、東吉野村など



奈良県の産地概要

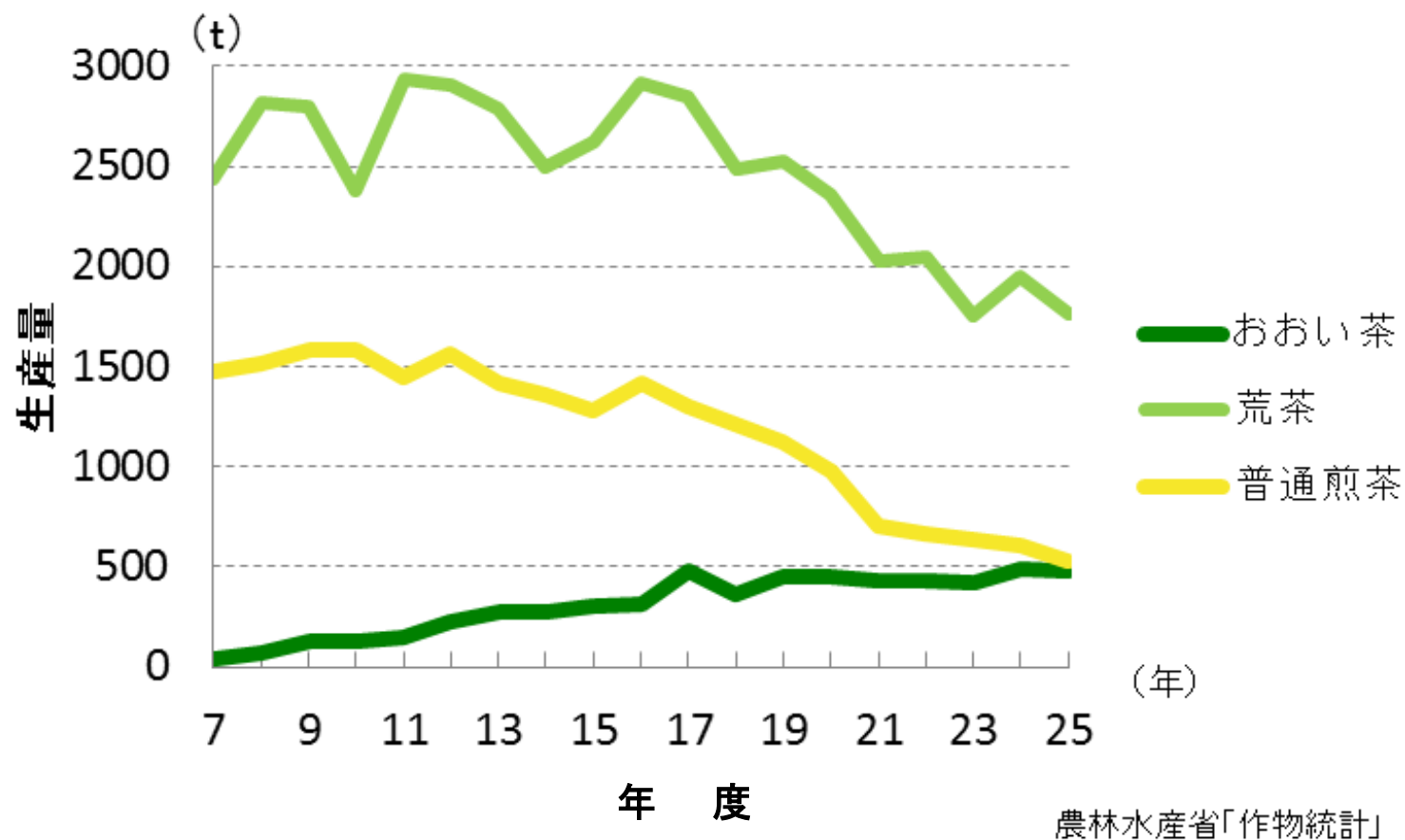


図 奈良県における茶種別荒茶生産量の推移

奈良県産地の特徴

- 中山間地に位置する産地
- 傾斜地が多い(傾斜区分 **5%以上 88.1%**)
(農林水産省生産局地域作物課資料 H25)
- 従来より霜害対策として縦うねが主
- 被覆率 (H24 一番茶、()内は各法人管理面積)
 - A法人 96.1 % (52.5 ha)
 - B法人 95.2 % (68.6 ha)



主要生産者は被覆栽培が基本

奈良県における慣行の展開および巻取り作業について

表 産地^{z)}での慣行展開・巻取り作業における作業時間および作業内訳の比較

	畝長 (m)	作業面積 (a)	作業人数 ^{y)} (人)	作業時間 (h)	作業内訳(%)		
					展開または 巻取り	移動・運搬	ピンチ脱着
展開作業	71.5～58.0	29.5	2	1.90	28.3	10.0	61.7
巻取り作業	71.5～67.0	8.7	2	1.28	36.2	14.1	49.7

^{z)}縦うね、傾斜度11～13度、品種「やぶきた」

^{y)}作業者：展開作業は40代および60代男性各1名、巻取り作業は60代男性、60代女性各1名

表 産地^{z)}での慣行展開・巻取り作業における作業能率および労働投下時間の比較

	畝長 (m)	作業面積 (a)	作業人数 ^{y)} (人)	作業能率 h/10a	投下労働時間 人・時/10 a
巻取り作業	71.5～67.0	8.7	2	1.47	2.94

^{z)}縦うね、傾斜度11～13度、品種「やぶきた」

^{y)}作業者：展開作業は40代および60代男性各1名、巻取り作業は60代男性、60代女性各1名



奈良県産地の特徴

- ・乗用型摘採機

導入台数 156 台

(全国第7位 (農林水産省生産局地域作物課資料 H25))

- ・同導入面積 302 ha

(対導入面積比 41.2 %)

(全国で見た対導入面積比 31.9 %)

機械化が比較的進んでいる

開発機械による展開および巻取り作業試験結果

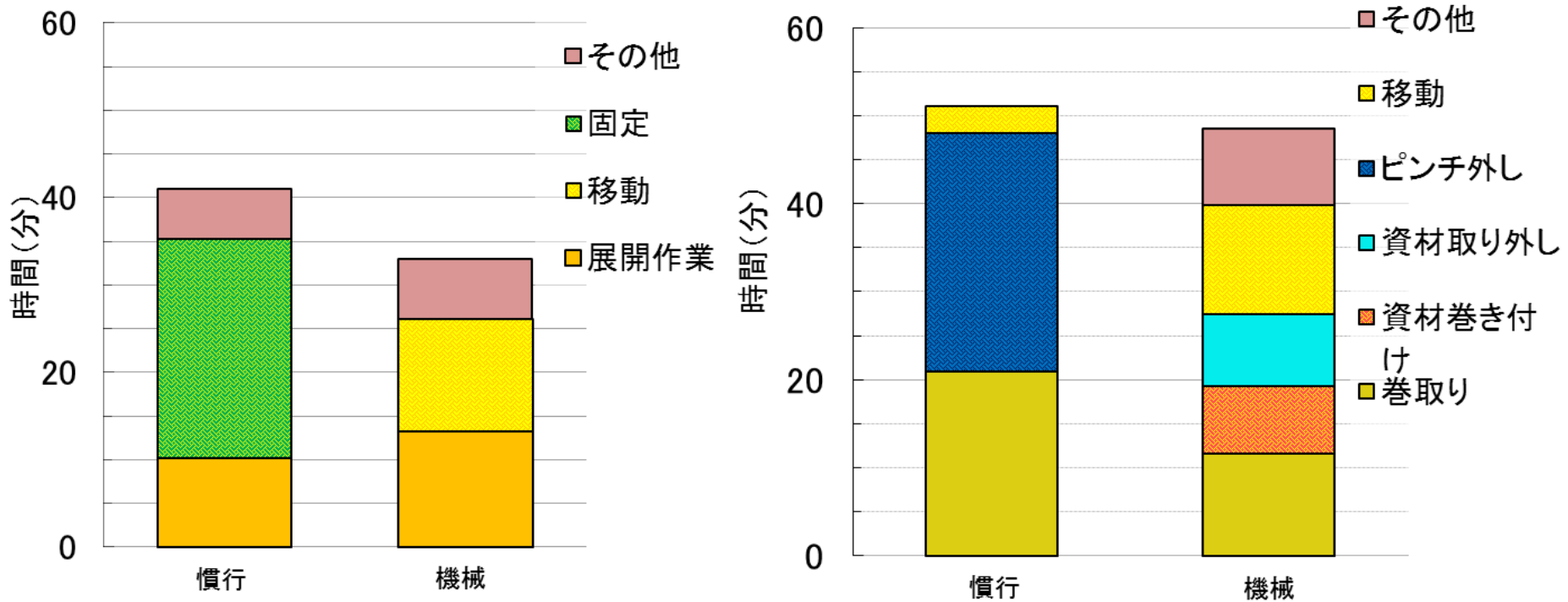


図 慣行および機械における作業時間内訳について(2013)

(左:展開作業、右:巻取り作業、10aあたり)

5月8日、5月22日(慣行)および7月9日(機械)調査

縦うね、傾斜度8~14度、品種「やぶきた」、作業者2名

今後の活用

- ・乗用型摘採機保有者への周知活動
- ・試作機の体験会などの検討